

報 道 資 料

平成21年8月17日（月）

件 名 米軍家族住宅の視察について

概 要 福田市長が標記視察を行いましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 目的

愛宕山開発用地買取要望の問題に端を発し、米軍家族住宅に関する様々な情報に基づく論議が議会や市民の間で起こっている。

こうした状況の中で、すでに多くの市議会議員や商工会議所のメンバー等も現地視察や意見交換を行っている。

ついては、市としても現地視察を行い、地元自治体と意見交換を行い、正確な情報と事実に基づいた米軍家族住宅に対する理解と認識を深め、今後の行政運営に反映させる。

2. 視察日程

平成21年7月31日（金） 針尾住宅地区及び佐世保市

平成21年8月10日（月） 池子住宅地区及び逗子市

3. 施設の概要

別紙資料のとおり

4. 地元自治体との主な意見交換

○ 佐世保市

- ・ 米軍と市民との交流は盛んであり、各種団体や行政も交流事業に積極的である。日米協会も東京以外では会員数も日本一である。そのくらい活発な交流を行っている。
- ・ 町を歩いていても、怖いとかそのような雰囲気はない。
- ・ 中心市街地に米軍施設である大きな公園（ニミッツパーク）があり、日本人も自由に入れて交流できるようになっている。
- ・ （ニミッツパークの）運動施設（ソフトボール場、アメフト場、BBQハウス等）を日本人だけで使用する場合は、文書による手続きが必要であるが、ジョギングやウォーキングなどは許可なく自由にできる。
- ・ 佐世保基地とは日米親善交流イベントやフェスティバル等が行われており、市民の皆さんは交流に対しては垣根というものはほとんど感じずに楽しん

でいる。

- ・ 商店街の中に、米兵や外国人観光客のために、英語が話せるスタッフを配置した案内所（アメリカ イン 佐世保情報センター）があり、大変役に立っている。
- ・ 針尾住宅地区に隣接するハウステンボス駐車場に、新たな米軍家族住宅が建設される予定であるが、反対する住民はほとんどいない。
- ・ 針尾住宅周辺地域の市民の方からは、米軍家族住宅の苦情はあまりない。
- ・ 言葉の違い、習慣、文化の違いによるトラブルは少ない。また、近年、米軍関係者による凶悪な事件は起こっていないが、事件性のない交通事故の件数は若干ある。

○ 逗子市

- ・ 交流はかなり活発に行われている。全国の基地の中でも最も盛んに、いろいろな意味で図られていると受けとめている。運動施設では、いろいろなスポーツイベントや交流試合など行っている。
- ・ 米軍家族住宅の方が直接加わらない、交流という形ではない施設の利用というケースもある。
- ・ 完全にフリーで入れるわけではなく、事前に名簿を提出し、許可を得た上で、入る時には身分証明の提示をし、テロ以降は荷物検査も行われている。現在、手続きの改善を米海軍に要望している。
- ・ 事前に登録しているスポーツ団体（野球のクラブ、サッカー少年団など）でのスポーツパスは始まっており、引率者がパスを持っていれば、参加者もそれで入ることができる。それを個人用パスの発行にまで広げることができないかを現在、体育協会と基地司令部が直接、調整しているという状況である。
- ・ 米軍家族住宅があることで、治安の問題で不安に感じていることはあまりない。逗子市民が市民生活をする上で、米軍の関係者とトラブルがあったとか、事件、事故に巻き込まれたということは、過去10年間で市内にはない。
- ・ 軽微な交通事故が昨年は20件程度あった。うち人身事故は2件あったが、死亡事故はない。
- ・ 有刺鉄線があるのは山の裏（中）の方であり、正面ゲート付近は普通の金網フェンスが張ってある。また、運動施設の周辺は金網フェンスが張ってあるが、一部、下の部分が金網、しのび返し部分に有刺鉄線が張ってあるフェンスもある。
- ・ 山の奥のところは、蛍の季節には市民が入って蛍狩りを楽しんだり、日米協会の方々がキャンプ場で日米交流のバーベキューを行ったりしている。また、広域避難場所としての協定を米海軍と結び、いざという時に市民が避難でき

るようになっている。

- ・ 市民からの苦情としては、時々、運動施設のナイター照明がまぶしいとか、年に1～2回、米側が夜を通してイベントを行う際に騒音の苦情がある。

5. 市長コメント

正確な情報と事実に基づいた米軍家族住宅の状況を把握し、今後の行政運営に生かすために、両住宅地区の視察と両市との意見交換を行った。

まず、両地区とも市民と米軍との交流が活発に行われているとともに、治安面については、全体的な市民感情として、あまり不安に感じていないとの印象であった。活発な交流が治安面での不安を抑える方向にも働いているのではないかと思う。

また、地区内の運動施設等の利用については、一定の手続きが必要であるが、少しでも市民が利用しやすいように検討されているとのことであった。交流事業も含めていろいろな形で市民が利用しているのも事実であり、このような施設が多く市民に有効に活用できるよう、岩国市としても、施設の利用方法や手続き等について改善を働きかけていきたい。

池子住宅地区の有刺鉄線については、自分の眼で確認したところでは、ほとんど目につかなかった。少なくとも、いわゆる「張りめぐらされている」といった印象ではなかった。

今回の視察と意見交換により、自分の眼で米軍家族住宅の状況を確認するとともに、交流事業の状況や治安面での市民感情など、直接、地元の意見を聴くことができた。所期の目的のとおり、今回得られた情報や事実を基に、米軍家族住宅の状況を客観的に評価し、今後の行政運営に生かしていきたい。

針尾住宅地区

1 概要

- (1) 所在地：長崎県佐世保市
- (2) ア 土地：31.6ha（国有地 26.4ha、民有地 5.2ha）
イ 建物：109.8千㎡（72棟）
- (3) 住宅戸数：532戸（高層住宅 4 棟272戸、中層住宅 1 棟44戸、低層住宅35棟216戸）

2 管理部隊：米海軍佐世保基地

3 使用実態：佐世保市内の米軍施設に勤務する米軍人・軍属とその家族が居住（約1,350人）

4 経緯：昭. 60. 7. 長崎県有地を米軍家族住宅用地として新規提供（約21.4ha）。 以後、逐次、土地・家族住宅を追加提供。

【土地】

昭. 60. 7. 約21.4ha
平. 4. 9. 約 2.3ha
平. 10. 12. 約 2.6ha
平. 15. 2. 約 2.9ha
平. 18. 2. 約 2.3ha

【家族住宅】

平. 1. 12. 202戸（高層1棟、低層22棟）
平. 4. 5. 56戸（低層8棟）
平. 8. 3. 136戸（高層2棟）
平. 11. 11. 94戸（高層1棟、低層5棟）
平. 19. 7. 44戸（中層1棟）

5 市民との交流状況

針尾住宅地区の小学校の運動場において、野球大会等スポーツ交流を実施。



池子住宅地区及び海軍補助施設

1 概要

- (1) 所在地：神奈川県逗子市、横浜市
- (2) ア 土地：288.4ha（国有地 287.9ha、民有地 0.5ha）
イ 建物：181.0千㎡（134棟）
- (3) 住宅戸数：854戸（高層住宅8棟528戸、低層住宅60棟326戸）

2 管理部隊

米海軍横須賀基地司令部

3 使用実態

主に横須賀地域に勤務する米軍人・軍属とその家族が居住（約3,000人）

4 経緯

- 昭. 20. 9. 旧海軍軍需池子倉庫を連合国軍が接收し、在日米陸軍弾薬庫として使用
- 昭. 45. 7. 在日米陸軍から在日米海軍に管理権が移管
- 昭. 60. 11. 池子住宅地区及び海軍補助施設に名称変更
- 平. 8. 3. 家族住宅を追加提供。以後、逐次追加提供。
 - 平. 8. 3. 320戸（高層1棟、低層48棟）
 - 平. 9. 2. 38戸（低層7棟）
 - 平. 9. 6. 210戸（高層3棟）
 - 平. 9. 9. 38戸（低層5棟）
 - 平. 10. 5. 248戸（高層4棟）

5 市民との交流状況

- (1) 運動施設の市民利用
日米親善交流の一環として、無償で市民が利用
- (2) 市民と親善交流
 - ・池子フレンドシップ・デー（年1回。平成21年度は5月に開催され、約5,000人を超える市民等が参加）
 - ・池子居住者によるボランティア活動・各種イベントの参加
- (3) 池子遺跡群資料館
米軍家族住宅建設予定地内にあったシロウリガイ類の化石を保存・展示。
一般市民の見学は、毎週火・水・土曜日に実施



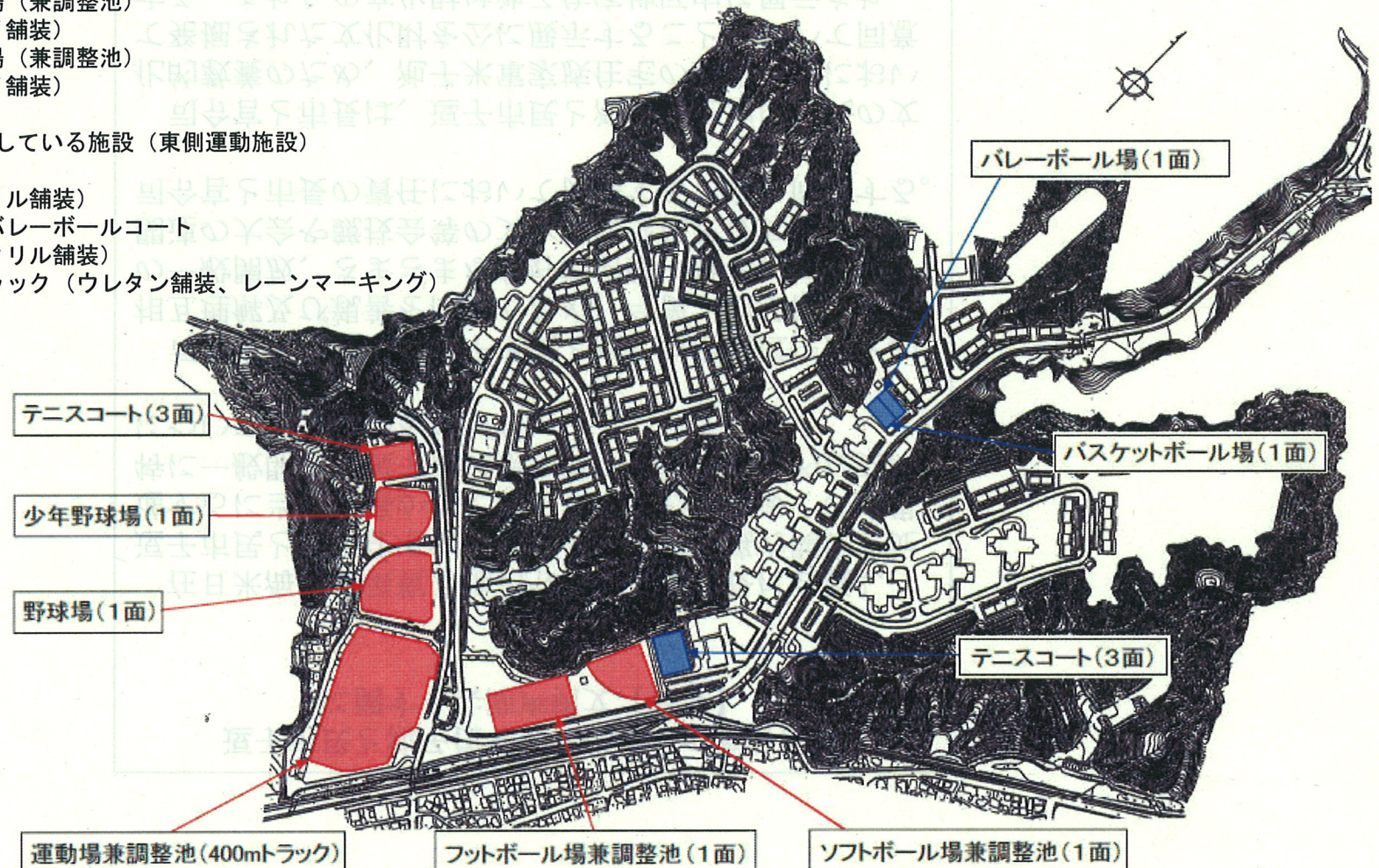
池子住宅地区における運動施設について

1 市民と米軍が使用している施設（主に西側運動施設）

- (1) 運動場（兼調整池）
 - ・ 400mトラック（ウレタン舗装、レーンマーキング）
- (2) 野球場
 - ・ 1面（内・外野クレイ、フェンス・バックネット）、ダックアウト（2棟）
- (3) 少年野球場
 - ・ 1面（内・外野クレイ、フェンス・バックネット）、ダックアウト（2棟）
- (4) テニスコート
 - ・ 3面（アクリル舗装）
- (5) フットボール場（兼調整池）
 - ・ 1面（クレイ舗装）
- (6) ソフトボール場（兼調整池）
 - ・ 1面（クレイ舗装）

2 米軍が専用で使用している施設（東側運動施設）

- (1) テニスコート
 - ・ 3面（アクリル舗装）
- (2) バスケット・バレーボールコート
 - ・ 各1面（アクリル舗装）
 - ・ 400mトラック（ウレタン舗装、レーンマーキング）



逗子市民と池子住宅地区住民との友好関係
に関する共同声明文【概要】

在日米海軍横須賀基地司令官と逗子市長は会談し、逗子市民と池子住宅地区住民との友好と協力関係を促進するに当たり築かれた過去3年にわたる多くの成果、特に一般開放や逗子市民祭り等の多数の文化的な交流について話し合いを行った。

司令官と市長は、逗子市民と池子住宅地区住民との相互理解及び親善を深めるため、今後、池子住宅地区の一般開放、さまざまな友好的活動、見学、スポーツ関連の大会や競技会等の文化的な交流及び友好行事を司令官と市長の責任において促進することを同意する。

司令官と市長は、逗子市民と池子住宅地区住民の文化的教養のため、池子米軍家族住宅の建設工事において発掘された文化財を公に展示することについて同意する。これらの文化財は池子住宅地区内に展示され、逗子市が管理する。

1998年（平成10年）12月17日

在日米海軍
横須賀基地司令官

逗子市長

池子住宅地区のご紹介



(写真提供: 神奈川県)

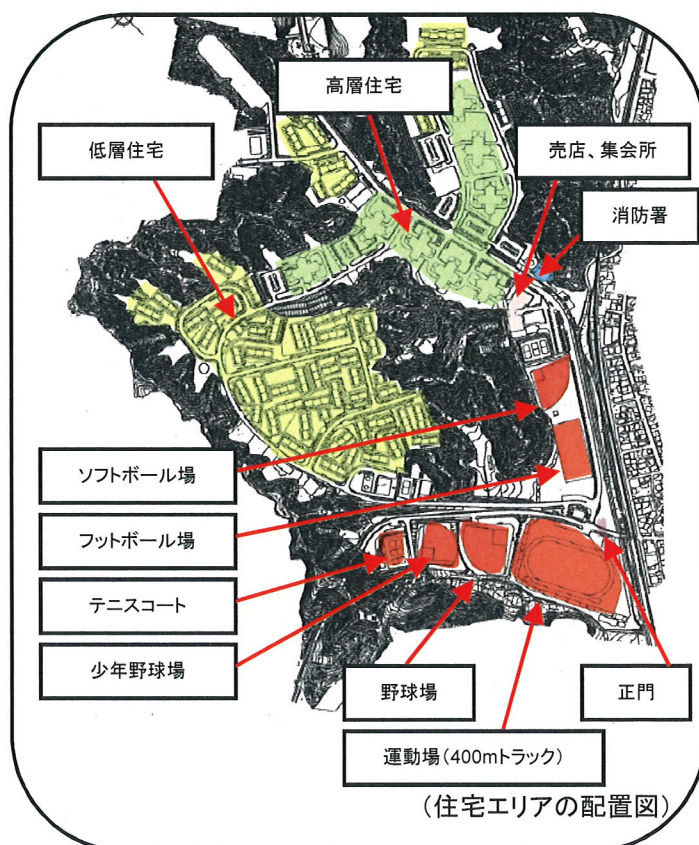
池子住宅地区※は、神奈川県に所在する米軍家族住宅です。

主に横須賀地域に勤務する米軍人・軍属とその家族、約3千人が居住し、家族住宅としては、高層8棟、低層60棟、合計854戸あり、売店、集会所、消防署、運動施設などもあります。

※ 本施設は昭和20年から在日米軍が使用。家族住宅の整備に伴い、昭和60年、名称を「池子住宅地区及び海軍補助施設」に変更。



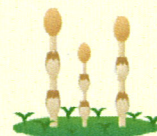
防衛省
〒162-8801
東京都新宿区市谷本村町5-1
TEL: 03-3268-3111(代)



整備に際し、環境にどのような配慮がなされたのですか？

家族住宅などの整備については、自然保護を理由とする反対運動もありましたが、緑の保存などについて協議を重ね、逗子市、神奈川県、国の三者による合意をみて、平成10年に工事が完了しました。

整備に当たっては、池子の豊かな緑を可能な限り残す、自然林保護植栽を行うなど、環境への様々な配慮をしたことにより、豊かな緑に囲まれたものとなっています。



(池子住宅地区全景)



運動施設は、市民にどのように利用されていますか？

池子住宅地区内には野球場、フットボール場、400メートルトラック、テニスコートなどの運動施設があり、これらの運動施設は、日米親善交流のため、市民の方々により頻繁に利用されています。



運動施設付近の境界フェンスは、メッシュフェンスです。



(400メートルトラック)



市民の方々による運動施設の利用状況は、次のとおりです。



野球場は、地元の少年野球チームなどにより年間約100回利用され、毎週土・日曜日には、朝から夕方まで、子供たちが練習や試合に汗を流しています。



フットボール場は、毎週土・日曜日のほか水曜日にも、地元サッカーチームにより年間約140回、また、毎週水曜日にはグランドゴルフのために年間約40回、利用されています。



400メートルトラックは、毎週土曜日を中心に、陸上競技のために年間約70回利用されています。

また、地域のサッカー大会や日米の子供たちによる駅伝大会なども開催され、スポーツ交流が図られています。

市民の方々による運動施設の利用は、日米親善交流の一環として無料となっています。

なお、運動施設の利用には、他の一般的な公共施設の利用と同じように事前の申込が必要です。 ※立入りには、身分証明書の提示が必要です。



平成20年度の利用状況

種目	使用回数	備考
サッカー	140回	毎週水・土・日曜日
少年野球	103回	毎週土・日曜日
陸上競技	69回	毎週土曜日
グランドゴルフ	36回	毎週水曜日
テニス	6回	

市民との交流は、どのようなことが行われていますか？

池子住宅地区内では、季節によって、もちつき大会、デイキャンプ、ほたる鑑賞会、ハロウィンなどの様々なイベントが行われています。

また、池子住宅地区居住者による老人ホームの清掃など各種ボランティア活動も行われています。



市民との交流、ボランティア活動の状況

(平成20年度)

団体等	主な活動内容	交流回数
逗子日米協会	ショッピングツアー、ほたる鑑賞会、もちつき大会、料理教室等	29回
ボランティア連絡協議会等	清掃活動、日本体験ツアー等	10回
老人ホーム	清掃ボランティア、鯉のぼり大会、秋祭り等	5回
その他	デイキャンプ親善交流、七夕祭り、ハロウィン、逗子海岸流鏑馬祭り等	51回

事件や事故の心配はありませんか？

池子住宅地区には、軍人・軍属とその家族約3千人が居住し、一家団欒の場として、和やかな家庭生活を営んでいます。

周辺地域(逗子市内)においては、米軍関係の刑法犯はありません。また、米軍関係の交通事故が若干発生しているものの、そのほとんどは物損事故です※。

なお、米軍においては、道路交通法などの交通安全教育に努めています。防衛省としても、交通事故被害に対し、迅速・適切な補償が行われるよう措置しています。

※ 最近5年間で、地位協定第18条業務の関係において、南関東防衛局が把握したもの

地域住民の一人として

私たちは、逗子市民と米軍家族住宅の方々との友好を深めるため、十数年にわたり、様々な交流活動を続けてきております。

毎年恒例となっている新春もちつき大会などの米軍施設内の活動は、地域に定着した交流イベントとして市民に親しまれています。



逗子日米協会
会長 清水 澄子

米軍家族住宅建設前は、子供たちの安全などに対する地域住民の不安が少なからずありましたが、日米の交流を続けていくにつれ、こうした不安は解消されていると感じております。

今後とも、日米の交流を通じ、より一層の友好親善関係が深められることを希望しています。